



防災の日、避難訓練を実施しました！

9月1日(火)の防災の日に避難訓練を実施しました。放送の合図で、全校児童が一斉に運動場に移動し、整列しました。今回の防災訓練は南海トラフ大地震を想定して実施しましたが、事前の学級担任からの指導を良く聞いて、静かに移動することができました。



ご存じの方も多いと思いますが、近年発生した地震の中で最も大きな被害のあった東日本大震災において、岩手県釜石市では、小学生1,927人、中学生999人の児童生徒の命が助かり、子どもたちの生存率が99.8%でした。これは「釜石の奇跡」と呼ばれていますが、釜石市の人たちは、「これは奇跡ではありません。子どもたちが普段、訓練していたからこそ、できたことなのです。」と話しています。

避難訓練では、校長から訓練を行うことの大切さ、避難経路を覚えておくこと、放送や指示が全員に聞こえるようにするために移動中はおしゃべりをしないこと、などを児童に伝えました。地震などの災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。子どもたちには、どんな環境にあっても正しく判断し、命を守る行動ができる人に成長してほしいと願っています。



観音寺市が平成27年3月に発行した総合防災マップによると、柞田小学校体育館は、風水害においても、地震においても「緊急避難場所」、「避難所」に指定されていますので、お知りおきください。

(観音寺市ホームページから閲覧可能です。)

柞田町出身の

元香川県中学校長会長



牧野 操 先生

(1900~1958)

柞田小学校の校庭には、いくつか記念碑が設置されていますが、人物の胸像が一つだけ設置されています。碑に刻まれた略歴によると、先生は、柞田町油井のご出身で、昭和8年から14年までの6年間は柞田小学校第13代校長を務めていらっしゃいます。その後、県教育委員会三豊出張所長、三豊中学校長を歴任し、三豊中学校長のときに、香川県中学校長会の会長も務められたようです。

柞田小校区の地域住民は勤勉であり、多くの優れた教員を輩出している土地柄です。今、本校に通っている児童の中に、将来、学校の先生になる人がいることを密かに夢見ています。

教育実習生を紹介します。

実習期間 8月31日(月)~9月18日(金)



高松大学発達科学部

高松大学から教育実習に来た 〇〇 さんです。約8年前に柞田小学校を卒業しました。

子どもと関わり、学び合える小学校教諭の魅力に惹かれ、教職を志しました。短い期間ですが、よろしく願います。(学級は1年1組です)